

記者発表資料

発表先 石川県政記者クラブ

平成24年10月30日

扱い

配布を持って解禁



～災害に備えて～ 現地画像配信の実働訓練を実施します。

金沢河川国道事務所では、地震などの災害に備えた取り組みとして、通信衛星を利用した現地画像配信の実働訓練を実施します。

能登半島地震では、山間奥地等での被災映像情報をいち早く当事務所や北陸地方整備局、関係自治体などに配信し、その後の復旧活動を進める上で効果的な役割を果たしました。

この訓練は、当事務所職員を対象に現在、北陸地方整備局が防災通信機器として各事務所に配備している「Ku-SAT」(衛星小型画像伝送装置)を使用して、実働訓練を実施するものです。

「Ku-SAT」とは、通信衛星を利用した映像・音声・電話、FAX等の通信を行う装置であり、人力による持ち運びが可能です。災害現場にKu-SATを設営し、現場の状況を映像で災害対策本部に送信することにより、復旧の計画等に役立てます。

また、映像の受信も可能であることから災害映像の受信用としても幅広く利用されています。

1. 実施日時：平成24年11月1日(木) 10:00～16:00

雨天決行します。

2. 実施場所：金沢河川国道事務所 防災支援センター構内

3. 訓練内容：Ku-SAT(衛星小型画像伝送装置)の実働訓練

衛星通信車の実働訓練

10:00～12:00

13:00～16:00

【問い合わせ先】

国土交通省 北陸地方整備局 金沢河川国道事務所 防災課長 宮島 重保

TEL: 076-264-9921

FAX: 076-233-9617

能登半島地震における活動状況

衛星通信車、Ku-SATによる映像の配信と通信の確保

被災現場に衛星通信車、Ku-SAT(衛星小型画像伝送装置)を派遣し、現地映像(動画)を送信し、本局、事務所等で監視するとともに、石川県、輪島市に伝送を行った。



-15-

能登半島地震を初めとして「Ku-SAT」を活用し、被災状況を映像にて迅速に把握できたことで早期の応急復旧につながりました。
この経験を踏まえ、職員が素早く「Ku-SAT」を操作できるように実働訓練を行います。

【訓練会場位置図】 会場には駐車場があります。

